

私は昨年の春、生まれ育った所からの引っ越しで、心細さや不安でいっぱいでした。学校で仲の良い友達はできるかな。勉強はついていけるかな。満開の桜の木の下、私の気持ちは、まるで借りてきた猫のようでした。見た事のない景色、知らない看板。初めて見る駅。この駅から前に住んでいた町に繋がっているのかな。最初はそんな事ばかり考えていました。



ある時、私はふと、近所の道にゴミが落ちていない事に気付きました。また別の日には、街路樹がとてもきれいに剪定されていて、花がまるで私を出迎えてくれているかのように咲き誇っていました。この事を母に言つていきました。この事を母に言つた、

「昭島市の人々は環境美化にとても熱心だよ。」

と、「広報あきしま」を見せてくれました。読んでみると、街の清掃ボランティアの方の記事や、人と人、地域社会をつなぐ催しのお知らせ、ごみの出し方やリサイクルの案内などが書かれていました。みんなが協力して住みやすい街づくりをしている事が分かり、昭島市の一員になれ良かったな、そして私も自分で良かつたな、そして私も自分

の住む街を大切にしたいと思いました。

学校の授業で調べた昭島市の風土や産業。友達が教えてくれた昭島市の歴史や行事。くじら祭りに友達と行つたら楽しいだろうな。みんなでわいわい見て回りたいな。まだまだ知りたいことがいっぱいです。特産のおいしい食べ物や飲み水。きれいな街並みや富士山の姿。先生方やクラスメイト。仲の良い友達は引っ越しで沈んでいた気持ちはいつの間にか無くなってしまつて、新しくできた大切なものが沢山になりました。

昭島に来たばかりの頃、なぜ街灯ごとにクジラの模様があるのか不思議だった。わざわざ図書館に行つて答えを探した。ある本の中に「私たち人類がまだ誕生していない時代に昭島の海底で住んでいたクジラの化石が発見された。」と記載されている。

興味があつた私は続けて読んでいた。発見されたクジラの化石を発掘して研究した。それが通じて、新種として認められ、世界にひとつしかない模式標本に指定されたことを知つた。また、化石の復元の難しさも分かった。化石をほり出したら、土や汚れをきれいにする必要があ

る。折れてしまつたところや、バラバラになつてしまつたところをつなぎ合わせて本物の骨の位置に並べて整理することもしなければならないことだ。



の住む街を大切にしたいと思いました。

昨年から両親と一緒に魅力がいっぱいの昭島に引っ越しした。ここで、たくさんの魅力を感じた。アキシマクジラと地下水は私の中に強く印象に残つた。

街灯だけではなく、マンホールや駅の自由通路にあるステンドグラスなどのデザインにもクジラの図が描かれていることを見つけた。

昭和中学校 一年  
田中 舞依

昭和中学校 一年  
伊 思輝

## 中学生による作文

# 昭島の魅力



## ちょこっと一息♪昭島散歩! SDGs!?『あきしまの水』!



昭島市では買い物のときや飲食店で食べ物を購入するときなどあらゆる場面でプラスチックを一つ減らし、全体で大きくプラスチック使用量を減らすことを目指す「プラスチックマイナスチック運動」を行っています。

一番身近なプラスチックであるペットボトルを減らすために、繰り返し使えるマイボトルを使っている人も多いと思います。多くの人がマイボトルを持つきっかけになるように昭島市には“あきしまの水”を無料で入れることができる「給水スポット」を、拝島・昭島・中神・東中神駅前に設置しました。ちかっぱーが目印になっているので、気付いた人や使った人もいると思います。

そして最近よく、「SDGs(エスディージーズ)」という言葉を聞きませんか? SDGsとは、国連が掲げる“持続可能でより良い世界を目指す国際目標”です。この「給水スポット」も実はSDGsに貢献するための設備なのです。給水機の側面には、SDGs17の目標の中で取り組んでいる4つの目標のロゴが描いてあります。どんな目標があるのか調べてみるのも楽しいですよ。

多くの人が意識してマイボトルなどを使うことで、大きな効果を生みます。まずは自分ができる小さなことから始めてみましょう!



## 「あきしまの青少年」 合併のおりしらせ

いつもご愛読ありがとうございます。突然ではございますが、本誌「あきしまの青少年」は今月号をもつて終了することとなりました。令和4年4月以降は「あきしまの教育」と合併し、新しい広報誌として生まれ変わります。引き続き、そちらを読んでいただけると嬉しいです。

これまでご愛読くださった皆さま、誌面にご登場いただいた皆さま、記事のご提供や取材に快くご協力いただきました皆さまに熱く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

昭島市子ども育成課青少年係

